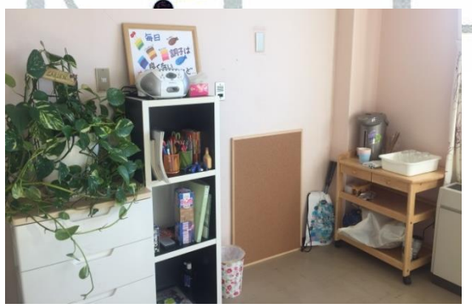
メンタルクリニックなごみが引っ越しました！

平成27年５月１日に相馬市内にて移転いたしました。移転した最大の理由は、精神科デイケアを実施するためです。診療を続ける中で、心理教育やＳＳＴ等のリハビリテーションに対するニーズが高いことがわかってきました。以前の建物では、デイケアを実施するには専有面積が足りなかったため、より広い場所に移転することを決めました。古い建物ではありますが、地域に根差したクリニックをめざし、今後も歩んでいきたいと思っています。　（文責　須藤）

平成27年８月、メンタルクリニックなごみ２階に小規模デイケアを開設しました。手工芸やカラオケ、調理、体操、スポーツ、病気についての勉強や就労支援、生活のしやすさの話し合いなどを行っています。コミュニケーションがうまくいかない方や生活リズムを整えたい方、自分の病気のことを知りたい方はいませんか。興味のある方は、お気軽にクリニックへお尋ねください。　（文責　吉田）



医療法人社団メンタルクリニックなごみ
TEL　0244-26-9602
福島県相馬市中村字川沼 240（旧加藤産婦人科）

相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会　会員大募集！

本会の趣旨に賛同し入会していただく正会員・賛助会員を募集致します。

1．正会員　　年会費　一口 10,000 円
2．賛助会員　年会費　　一口 3,000 円

【申し込み方法】
① 正会員または賛助会員・氏名・住所・所属先・職業・電話番号・メールアドレスを明記の上、
② 下記住所に申込書を郵送または FAX してください。
以下のホームページアドレスから申し込むこともできます。
http://soso-cocoro.jp/

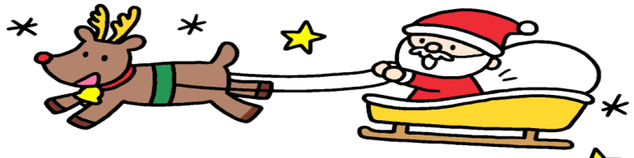
お振込み先　東邦銀行　相馬支店　普通預金
口座番号：1044879
口座名義：特定非営利活動法人　相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会
理事長　大川貴子

郵便振込の場合
口座番号：02260-0-126825
口座名義：特非　相双に新しい精神科医療保健福祉をつくる会
(東邦銀行口座と名義が異なりますので、ご注意下さい)

※会員になってくださった方には、定期的に会報や現地の情報を送らせていただきます。
是非ご検討下さい。

お問い合わせ
〒976-0016　福島県相馬市沖ノ内１丁目 2-8
電話　0244-26-9753
FAX　0244-26-9739
アドレス nagomi@soso-cocoro.jp

なごみのロゴが変わりました！



相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会
相双COCOROニュースなごみ
第11号　H27年11月20日
発行元　KCN　ニュースレター　編集部
ホームページ　http://nagomi.soso-cocoro.jp
Facebook ページ　http://on.fb.me/SQ56Ju

『進化し続ける「なごみ」を目指して』

理事長　大川貴子より

東日本大震災より、4年半が経ちました。「NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会」が認可されましたのが平成 23 年の 11 月ですので、設立から 4 年が過ぎようとしています。翌年 1 月に「相馬広域こころのケアセンターなごみ」が発足し、昨年 4 月には「訪問看護ステーションなごみ」が、そして本年 4 月には「地域活動支援センターなごみ CLUB」も加わりました。

本法人の名称はとても長く、「もう少し名前を考えて届け出ればよかったかな」と思うこともありますが、一方で、この名前が何を目指していくのかを克明に顕し続けてくれているとも思います。被災地の状況は動いており、そのニーズは刻々と変化していきます。いかに、そのニーズを把握し、必要な支援を提供できるように自らの形をかえていけるのかが問われます。時に、組織は安定を求めます。しかし、名称に「新しいシステムをつくる」と掲げた団体として、相双という土地に合った精神保健、医療、福祉のあり方を模索し、進化し続けていきたいと思います。皆様、末永いお付き合いを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 27 年度 NPO 法人総会＆地域活動支援センターなごみ CLUB 設立セレモニーを行いました！

６月に NPO 法人の総会を行いました。26 年度の事業報告及び今年度の事業計画が報告され、出席した会員の皆様の承認を得られました。今年度より安保寛明理事、村松恵美子理事を新理事として迎えました。これまで理事を務めてくださった工藤慎吾理事、鈴木満理事、大変お世話になりました。

なごみ CLUB 設立セレモニー記念講演
『みんなで再生の精神保健医療福祉を描こう
～震災前にもどるのではないわが国のモデルの構築を～』

十勝障がい者支援センターより門屋充郎先生をお招きし、十勝における地域医療の取り組みについてお話をうかがいました。十勝地方では人口当たりの精神科病院の病床数の削減に成功しているそうです。日本の精神障がい者の支援は精神科病院医療完結型から地域精神医療中心型への過渡期であり、長期入院の方の地域への移行促進が図られています。相双地域は震災により、突然地域への移行が生じましたが、震災前の精神科病院医療の姿に再生するのではなく、新しい地域精神医療中心の医療モデルを構築することが提言されました。

地域活動支援センター なごみ CLUB 開設しました！

地域活動支援センター・相談支援事業所なごみＣＬＵＢは平成27年４月に相馬市からの委託を受けて始まりました。なごみ CLUB では、精神障がいを持った方に、日中の活動の場を提供しています。最初は利用者２名でしたが、現在では１日平均８名が通所しています。通常の活動は、オセロなどのゲームやカラオケ、折り紙、料理などを行っています。また、毎月お出かけを計画しています。写真は「霊山こどもの村」に行った時のものです。天気も良く、みんなで紅葉を存分に楽しみました。また、ボーリングも人気の活動です。みんなの投げっぷりが素晴らしく、ストライクを取るたびに歓声が上がっていました。普段と違うメンバーの楽しそうな表情にスタッフも笑顔になります。

なごみ CLUB の利用者の多くは、震災以前でしたら妄想や幻覚によって生活に支障のある方は精神科病院に入院するというケースが多かったのですが、相双地域では原発事故の影響で病床数が震災前の 5 分の 1 に減少してしまいました。入院の必要性があっても地域でケアしなければいけない状況は今も続いています。なごみ CLUB での活動を通して、妄想や幻覚があっても周囲の人々の理解と支えがあれば、地域で生活できるのだと感じています。開所したばかりで慣れないことも多いですが、メンバーさんと一緒になごみ CLUB を作り上げていきたいと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。　（文責　大谷）

霊山こどもの村

学生さんより
プログラムを利用者が考えて提案していたのが驚いた。幻聴や妄想があっても、利用者どうし仲良く過ごしていたのが印象的だった。

ピアサポーター
横山香里さんより
また活動にも参加したいです。私自身元気をもらえるし、みなさんとお会いすることが楽しみです。

メンバーさんより
６月になごみＣＬＵＢに通所するようになりました。みんな優しくしてくれて、弁当もおいしいし、紅葉狩りや芋煮会、流しそうめんなど季節の行事も楽しかったです。これからもよろしくお願いします。

ボーリング

相談支援事業所なごみ CLUB は平成 27 年 4 月 1 日に開所しました。主に精神的な障がいをお持ちの方を対象としています。相馬市からの委託を受けて計画相談支援（サービス等利用計画の作成）を行っています。「退院してアパートやグループホームで生活をしたいが、どのようにすればいいのかわからない」「お金がなくて生活に困っているが、だれに相談していいのかわからない」など日常生活でお困りの方は、お気軽になごみ CLUB までご連絡ください。　（文責　工藤）
連絡先：0244-26-9743（担当：大谷・工藤）

なごみ CLUB スタッフ

訪問看護ステーションなごみ

訪問看護ステーションなごみは平成26 年４月に開所し、11 月で１年８か月となりました。おかげさまで契約者は４３名となり看護師３名で訪問しています。日ごとに笑顔が増える利用者さんを見ていると、安堵感と共に地域で支える意味を考えさせられます。アウトリーチ事業は、精神保健福祉士１名、看護師１名が担当し、顧問の丸田先生とともに日々奮闘しています。家族や対象者さんに寄り添う時間、疾患を見つめる時間、どれもかけがえのない回復への時間だと思います。そして、今年９月より新しく鈴木景子さんが入職し、細かい事務作業をしてくれています。事務は縁の下の力持ち。慣れない作業を誠実に行ってくれています。これからも地域で暮らす「ひと」と向き合える大切な時間を積み上げていきたいと考えています。　（文責　佐藤照美）

訪問看護ステーションなごみスタッフ

こころのケアセンターなごみ

こころのケアセンターなごみは４月より相馬事務所に看護師の木島さん、南相馬事務所に臨床心理士の足立さんと非常勤で看護師の小林さんを迎えました。新しいスタッフが加わり、活動の幅が広がっています。５月にはメンタルクリニックなごみがあった場所へこころのケアセンターが引っ越し、待望の広いスペースができました。

急速な復興を進める相馬市、新地町と、平成 28 年 3 月に小高区の避難準備区域の解除を控えた南相馬市との復興格差により、こころのケアの問題は、より複雑になっていくと予想されます。変化する地域に寄り添いながら、これからも住民に愛される「なごみ」を目指していきたいと思います。

（文責　米倉）

相馬事務所スタッフ

南相馬事務所スタッフ

10.24 健康福祉まつり